

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

考え続けることこそが経営である 入山 章栄 (早稲田大学教授)

1. 経営理論を学んだり、フレームワークを勉強したりしても、そこから経営の正解が得られるわけではありません。そもそもこれだけ変化の激しい時代なので「経営には正解がない」というのが私の考えです。それでもリーダーは「意志決定」する必要があるため、考え続けなければならない。つまり、考え続けることこそが経営であり、私の知る優れた経営者はそのことをよく理解しています。
2. そして経営について考え続けるとき、経営学はビジネスパーソンが考えを整理してブラッシュアップしたり、物事の理解を深めたりするときのための「道具立て」にはなりません。経営の正解は誰にも分かりませんが、世界中の経営学者による科学的な研究によって、人間や組織がどんな行動原理で意思決定をして動いているかについて、メカニズムをある程度分かっているからです。
3. 不確実性が高まり、皆が自分で考えなければならない時代に入ったにもかかわらず、そこには明確な指針がありません。経営者の理論やフレームワークは、ビジネスパーソンが自らの力で考え抜くときの思考の軸や整理の枠組みの一つにはなり得る、ということです。

(参考:「日経ビジネス」2021年12月27日・2022年1月3日号)

経営者のための社会学

コロナ禍で激変の富裕層

1. 渋谷や六本木など都心のタワーマンションが飛ぶように売れている。また、テレワークの普及もあって、高級別荘を購入して移住する人も増えている。人気の別荘地である長野県軽井沢町では、幼小中一貫校が設立されたことと相まって、転入による人口増加が全国の町村でナンバーワンとなったほどだ。ただ、クルーザーやプライベートジェットといった「ザ・富裕層」的な商品には興味がない人が多いという。
2. 30代~40代の若い富裕層の多くは、見えを張ることに興味がない。その代わりに、経営者仲間などと将来成功しそうなベンチャー企業などの情報を交換し、応援の意味も込めて未上場株に投資しているという。

(参考:「週刊東洋経済」:2022年1月8日号)

人事・労務について

大規模リストラに着手 (ホンダ、パナソニック)

1. 21年4月、ホンダは中高年社員を対象に早期退職制度をスタートさせた。割増退職金を含めると8000万円ほどになるためか、応募者数は2500人に上るといふ。パナソニックが21年9月末に実施した早期退職制度(割増退職金は上限4000万円)に1000人超もの社員が手を挙げた
2. 時代は、大変革のときである。脱炭素とDXの潮流の中、世界の主要企業がゲームチェンジを仕掛けてきている。ハードウェアからソフトウェアへ、ガソリン車から電動車へ。ホンダもパナソニックも、負のレガシーを断ち切る「構造改革」と新領域への「戦略投資」を同時に進めるためだ。だが、いずれもレガシー企業であるだけに、ロートル人材の滞留、人事の硬直化が変革への対応力をそぐ元凶になりかねない。だからこそ、リストラで人事を刷新しようとしているのだ。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2022年12月25日・2022年1月1日号)

古典に学ぶ

適する物を作り適さない物は仕入れる

(解説) 一県にして佐渡からは金を産し、越後からは米を産する。一国にすれば、台湾から砂糖が出るし、関東地方からは生糸が出る。更に国際間に拡大して見ると、アメリカの小麦、インドの綿花のごとく、それぞれの地勢によってその産物を異にするのである。この点は特に注意して、我国に適する物を作り、適さない物を仕入れるのである。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)